



お国方と  
お合のす  
あだし  
場合の  
マリーゼ

## あたしのこと

---

あたしの名前は石原マリモ。

親がつけてくれた名前だから仕方ないけど、マリモってというのが小さい時から嫌いだった。

マリモと聞けば誰だって北海道のあのマリモを連想する。

それもそのはず。

あたしの父は阿寒湖の近くのひなびた山村で生まれ、母はその隣の小さな町で生まれた。

二人は高校の時の同級生だったんだけど、二年生の時に一緒に家出をした。

駆け落ちってやつかな。二人とも家にあるお金というお金を全部ふんだくって東京に出てきた

。

あたしの両親にしてはすごいエネルギーだとは思う。

でも、そんなのだから故郷の阿寒の町にも帰るに帰れず、帰れないとなるとまた阿寒が懐かしい。

で、母はそのときにもう子どもを身ごもっていた。それがあたしなんだけど、だからその時にもう、生まれてくる子が

男の子であれ女の子であれ何が何でも「マリモ」。マリモという名前を付けるんだと決めていたらしい。

何のためらいもなくその名をつけたというわけだ。

「わかりやすくっていい名前じゃない」

母はそう言う。でも、嫌だ。

この間だって、お客さんに名刺を渡したら、相手はそれをじっと見ていたのはいいけど、

「マリモさんとおっしゃるの・・・？へえ・・・。ご出身はやっぱり北海道？」

なんて。

興味津々って感じで人の顔をのぞき込むようにしてそう聞く。

初対面なのにそんなこと聞くなよ、と思いつつ、

「え？はい。ええ、まあ。そうです」

などと愛想笑いしながらまともに答えてる自分がまた嫌いだ。

あたしは一応、銀行員だ。小さな銀行の営業部門にいる。だからお客さんとのやりとりが多い

。

勤め始めてもうかれこれ十年になる。営業の仕事には慣れてきたけど、問題なのはこの不景気なご時世でこの

銀行がいつまで持つかということだ。